



2020年10月9日

各位

会社名 株式会社オンワードホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 保元 道宣  
 (コード番号 8016 東証・名証第一部)  
 問合せ先 取締役 財務・経理・IR担当 佐藤 修  
 (TEL. 03-4512-1030)

## 業績予想および配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年7月10日に発表いたしました「2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年2月期通期連結業績予想および配当予想を下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2021年2月期通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	187,500	△8,945	△8,450	△8,560	△63.27
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績	248,233	△3,061	△3,835	△52,135	△383.97

## 2. 2021年2月期配当予想

	年間配当金(円)				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想			—	12.00	12.00
当期実績	—	—			
(参考)前期実績	—	—	—	24.00	24.00

### 3. 連結業績予想公表の理由

2021年2月期の通期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、通期連結業績予想を公表することといたしました。

引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残るものの、欧州事業を除いてそのマイナス効果は徐々に縮小していく想定で、下期の連結売上高を前年比18%減の1,069億円、通期の連結売上高を前年比24%減の1,875億円と予想しました。

通期の国内EC売上高については、専用商品の開発やオンライン販促の強化などにより、500億円規模の実現を目指します。

下期の連結損益は、仕入の抑制と在庫管理の徹底による売上総利益率の改善や、不採算店舗の廃止などの構造改革の実行による販管費の大幅な圧縮により、営業利益が約25億円、当期純利益が約66億円の黒字転換を予想しています。

以上の結果、通期の連結損益は、連結営業損失を約89億円、親会社株主に帰属する当期純損失を約85億円と予想しています。

### 4. 配当予想公表の理由

2021年2月期の配当予想については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により連結業績予想の合理的な算出が困難であったことから未定としておりましたが、上記の連結業績予想を踏まえ配当予想を公表いたします。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策の一つと位置づけ、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施することを基本方針としています。

しかし、新型コロナウイルス感染症による業績に対する影響が継続しており、第2四半期連結累計期間は第1四半期連結累計期間に引き続き親会社株主に帰属する四半期純損失を計上するなど、通期にわたって厳しい業績推移が見込まれます。

2021年2月期の配当予想につきましては、上記のような厳しい業績見通しではありますが、配当政策に関する当社の基本方針を踏まえ、期末配当は前期実績より12円減配の12円といたします。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

以上